

東由利村報

No. 66

37・8・1

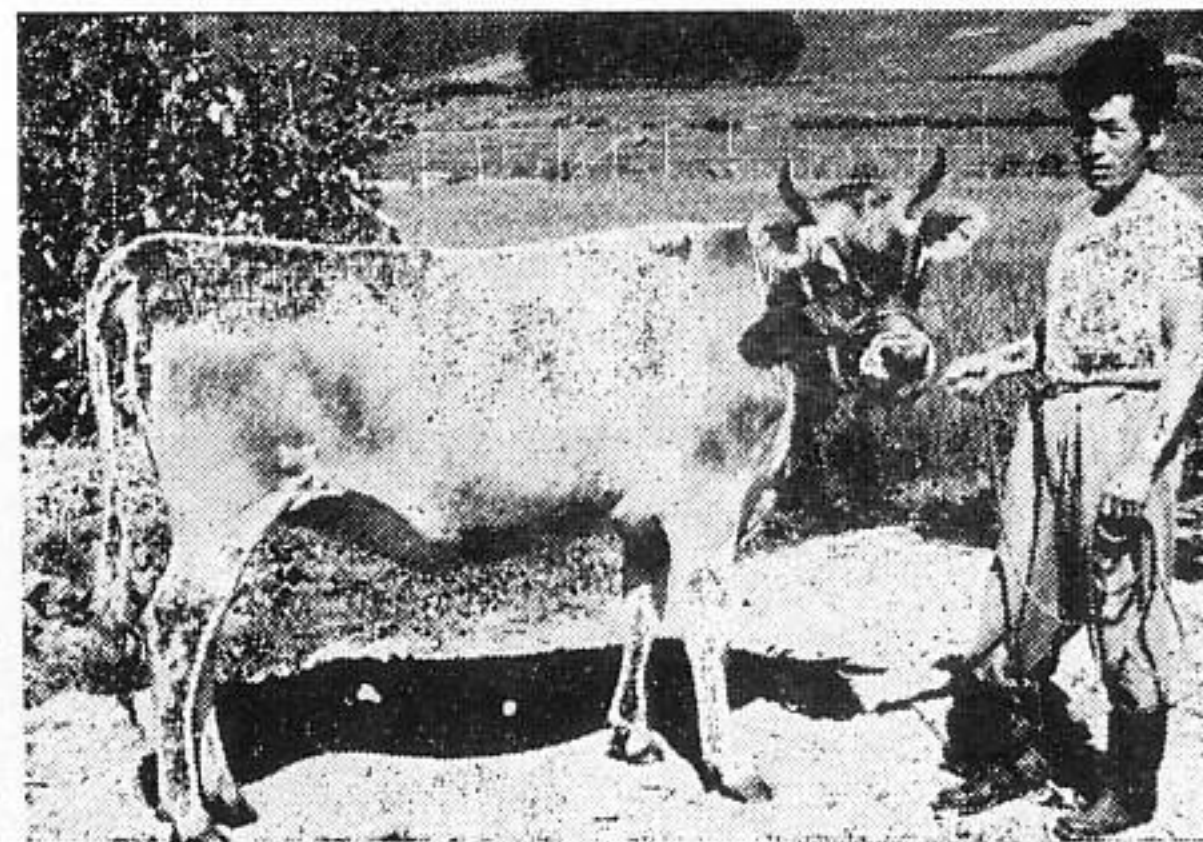
発行所 秋田県東由利村役場
印刷所 株式会社 本間印刷所

- 紙 面 案 内
- P2 佐藤政次氏博士に
子ども会指導者講習
- P3 作況調査の報告
由利畜共の成績
- P4 村民税の計算方法
黒測診療所はじまる

ジャージー牛の第一次導入以来、現在はずでに四〇〇頭を越し、いろいろな条件も次第に整備されて新しい産業として確固とした基盤がつくられたが、発展の

ジャージー牛を大型に改良

ニュージーランド系など16頭を購入



このほど本村ではニュージーランド系、アメリカ系のジャージー牛各八頭を購入した。本村の酪農事業は三十三年にジャージー牛の第一次導入以来、現在はずでに四〇〇頭を越し、いろいろな条件も次第に整備されて新しい産業として確固とした基盤がつくられたが、発展の

要素としてつねに要求されるのが体質改善である。この新しい系統のジャージー種を購入したのもその一つという見方ができようか。

そして乳量も多くしていこうとするもの（ただしオーストラリア系より脂肪分は少ない）、いわば長短をあい補って完べきなものに改良していこうとするものである。

も各八頭入っている。アメリカ系は東京国際キリスト教大学の試験農場より本村単独で購入したもので七月三十日到着した。【写真は小松秀穂さん（湯出野）が飼育しているニュージーランド系のジャージー牛。まだ生後二年であるが、同じく飼育されている生後四年のオーストラリア系のもより体高胸囲とも一〇センチ以上大きい】

村議会常任委員かわる

村議会は七月十六日招集された第五回臨時会で、常任委員と同委員長の選挙を行い、結果は次のとおりである。

(◎印委員長)

総務委員

◎小野 広志 伊東 与吉

遠藤 孫助 小松 豊

島山 富男 佐藤 謙吉

産業経済委員

◎岳石伊左武郎 佐藤 文助

梅津二三雄 小松 真一

加藤 清

土木委員

◎佐々木宇一郎 阿部 次郎

高橋 重助 田代 寿治

島山 正

教育民生委員

◎伊東喜十郎 小松与惣雄

島山忠太郎 大沼 一広

長沢 毅

集中した国道の建設工事

本村の動脈、国道107号線の建設工事は今年も各地で一つせいに始っている。

現在の工事箇所は蔵・島・舟木の3地区、蔵地区は舗装工事で延長500M（工事費700万円）、島・舟木地区はともに路面改良で島地区は延長760M（工事費550万円）、舟木地区は530M（510万円）である。

本村は昨年に引続き各工事が集中して道路の近代化に急ピッチであり、悪路もここ当分のごしんぼうといったところ。

【写真は右から島・蔵・舟木各地区の工事状況】

自転車の防犯登録

8月2日から

本荘警察署及び村防犯組合ではこの八月二日から新しく自転車の防犯登録を行う。

これは三十三年度に登録制度を実施したが修理などで特徴が変わったり、廃車、所有者の変更などで自転車の盗難発見が困難になったので全部の登録替えを行うことになったもの。登録方法は新しい車籍証を尾灯の上部にとりつけ、同時に車籍カードをつくって所有者と警察署で一枚ずつ保管する。

なお、この登録費用は実費三十円が必要である。

8月は

村（県）民税2期の納期

二重売買された農地の所有権は？

【問】二十年前に甲から畑五畝を買受けた耕作していましたが登記は甲のままにしておきました。最近、登記名簿を調べましたら、甲から乙に売られたことになっていました。この畑の所有権は乙のものでしょうか。

【答】民法の規定により、不動産に関する物権の得喪および変更は、登記をしなければ、第三者に対して、物権の得喪変更を生じたことを主張することができませんから（民法一七七条）

農地相談室

あなたが甲から畑を買受けても所有権移転登記をしないため、乙がこの畑を買受けて登記を完了すれば、あなたは乙に対してこの農地の所有権があなたのものであると主張出来ません。

しかし、甲は畑を二重売買したことになるから、甲に対しては損害賠償の請求をすることが出来ます。また昭和二十一年十一月二十二日以降は、知事の許可を受けなければ、所有権移転を

することができないことになっており、許可を受けずに所有権を移転しても効力を生じないことになっていきます（農地法三条）。なお、台帳地目が山林などであるため、農地法の適用のある農地であることがわからないため知事の許可を受けずに、乙に所有権を移転する登記が受理された場合でも、知事の許可を受けなければ所有権は乙に移転しませんので、乙はこの農地の引渡しを請求することができません。

【農業委員会】

文学博士の校長先生

佐藤政次氏・宣明暦の研究で



れた。

同氏が暦の研究をはじめられたのは日大法文学部に在学中からで、卒業論文にも同郷出身の平田篤胤の暦数論を取り上げ、学界の評判になったことから力を得て暦の学問を一

生のテーマにして勉強を続けようと思いたったという。こうして教職の忙しい日課をさかれ、資料の不足などに非常な苦心がはらわれて三十四年に約二千七百ページからなる研究論文が完成、東洋大学に提出されて「天文暦数の研究に歴史的な見方を加えたものとしてはまれにみる労作」という審査員の

子ども会指導者講習会

8月6・7日 玉米中学校で

本村青少年問題協議会では子ども会のリーダー養成を目的とする指導者講習会を八月六・七日の一泊二日間、玉米中学校で開催することになった。

協議会では、青少年の健全育成運動を具

て、子ども会を全村につくっていく方針を決め、さしあたって①子ども会のリーダー養成②部落（または子ども会単位）に世話を置く③子ども会と世話人会の全村的な横のつながりをとる、の三つをとり上げることになり、その一つとして今回の講習会が計画されたもの。

これには現在結成されている会はもちろん、まだ結成されていないところでもリーダーとなる代表一、二名が参加することになっており、講習内容は次のとおりである。

- ▽講話・子ども会の運営と活動のあり方（県講師）
- ▽講話・大人から見た子どもの生活（阿部村長）
- ▽グループ研究と全体研究
- ▽ゲーム・ソング指導
- ▽キャンプファイヤー

わらび座公演

9月10日・玉米農協で

玉米農協では9月10日「家の光大会」を催すことになり、このアトラクションとしてわらび座の公演を一般に公開する。

老方小に新しい校門

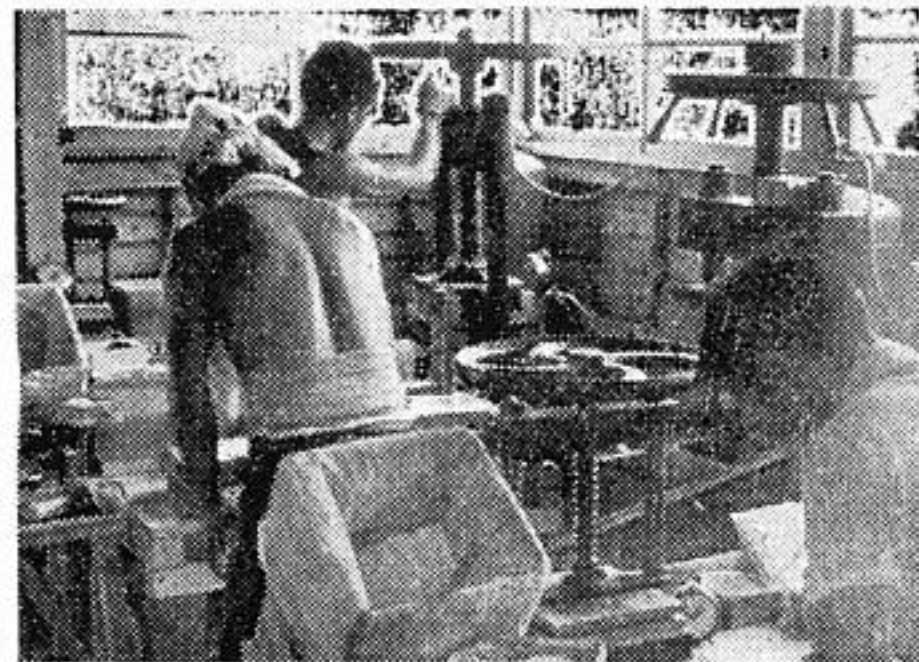
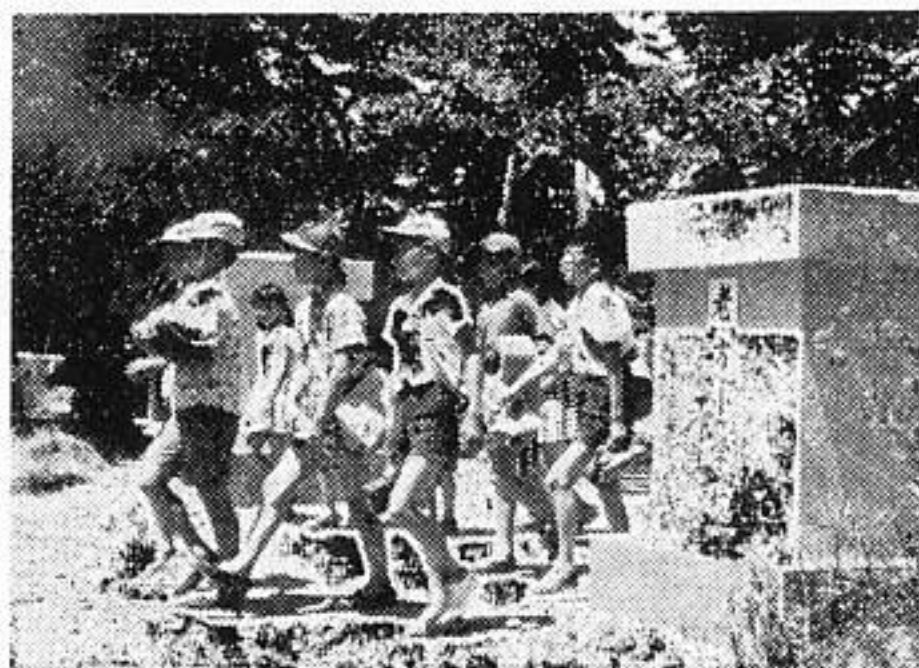
老方小学校の校門がこのほど新しく出来上った。これは小松忠一郎・長沢毅両氏の篤志によつて出来たもので、同校児童たちは毎日この校門に迎えられ、そして見送られて学校生活にいそしんでいる。

【写真（上）は小松・長沢両氏の篤志によつて建てられた老方小の校門】

新町にプラスチック工場

こんど老方新町部落にプラスチック工場ができた。東北化工秋田分工場がそれで、佐々木源次郎さんが責任者となつて経営しているもの。こゝではプラスチック成型加工による食箸の製造が主であり、現在は月産四千ゼンであるが、将来はもつと技術者を養成して食器・カップ類も製造できるように拡張していくとのことである。

【写真（下）はプラスチック工場の内部】



作況調査の報告から

葉イモチ病で命取り？

望まれる早期の措置

本村の今年の水稻第一回作況調査は七月二十八日、佐々木宇一郎・遠藤徳太郎・小野作右工門・高橋重助・長谷山直助の五氏で行われた。

この報告によると生育状況は六月後半の低温が障害になつて生育が遅れ昨年と比較して全般に劣っている。また葉イモチ病が遅く、しかも急激

に多く発生しているものでそれが首イモチ病に移行する危険があり、出穂期を前に早急に措地をとる必要があると警告している

生育は五・七日の遅れ

状況

①成育状況は昨年と比較してやや劣る。②六月後半からの低温障害が原因となり、全般に五・七日生育が遅れている。したがって軟弱の傾向にある。

③葉イモチ病の発生は「できすぎ」と軟弱のため全般に見受けられ、局部的には相当被害が大きい(松沢・板戸・杉森)

④除草剤の使用により労力節減等、相当効果を上げているが、

反面、使用方法が不適切なため薬剤効果があらわれず、かえつて稲の生育が停止するなど被害が一部見受けられた。

心配される首イモチの多発

対策

これまでの低温でまん延がゆるかつた葉イモチ病が急激に発生してきた。病斑はほとんどいたると



大庭さんの乳牛また栄冠

由利畜産共進会で一等賞

去る六月二十九日、本荘市で行われた第十四回由利畜産共進会で、本村関係では大庭喜右工門さん(舟木)飼育のオケアース

号が乳牛ジャージー種の部で一等賞を獲得したほか、全頭が入賞した。

地域の教育問題を解く
教育相談開設

県教育研究所主催の巡回教育相談は七月十八日、住吉小学校で開催された。これは同研究所や教育庁関係の専門の係員が地域でかかえている教育上の問題点にそれぞれ指導助言を行い、解決の糸口をつけようとするもので、村内から学校職員・PTA・公民館関係者約一五〇名が出席、あらかじめ提出した家庭学習の指導方法、給食問題、子ども会と校外指導、公民館活動と青年学級の振興策など日ごろ悩みぬいていることがらだけに終止、熱心な討議が行われた。

【写真は住吉小学校で行われた教育相談の会場】

8月18日・のど自慢大会

出演申込み10日まで

村ならびに公民館主催でお盆中の村民レクエリションとして「のど自慢大会」を八月十八日午後一時から下郷中学校で開催することになり、ノドに自信のある方の出演を歓迎している。出演希望者は八月十日まで①氏名②年齢③部落名④曲目を記入して公民館事務局まで申込むこと。なおこれにはアトラクションとしてミッボン衣料株式会社の従業員で編成している楽団の特別出演も予定している。

ところに発見されるが、とくに多肥田、七月初旬に肥効のあつた田、秋落田などに多くみられ病斑は比較的急性型である。このように葉イモチ病が遅く、多く発生すると一般に首イモチ病の発生が多くなり、また急激な発生はズリコミ症状になりやすく、出穂までの期間が短いのでその症状が回復するいとまがなく、罹病しやすい穂が出てくることになる。

①これまでかんまんな発生から気をゆるめ、最近の発生に気づいていない人が多いようであるから、早期発見に努めること。(急性病斑は上葉に、慢性病斑は下葉に多く発生している)

②ズリコミ症状をみる地帯は共同防除を実施すること。

③発生の激甚な田、急性、白斑等の病斑をみる水田では最初にブラエスM剤を撒布し、それから五・七日毎に出穂まで水銀剤を撒布すること。

また回復の見込みのない田は早く刈取つて近所に迷惑をかけること。

ブラスM剤使用の注意

ブラスM剤は目を痛めるので必ず防塵メガネをして撒布する。もし眼が悪くなつたらこすつたりしないで清水で洗い、なお痛みの激しいときはそのまま医師に行きコーチゾン入り目薬で治療をうけること。

商工会で技能講習

17日から大琴会館で

村商工会では八月十七日から三日間、大琴会館でデザイン・塗装・建築三部門の技能講習を行う。講師は秋田工芸学校長らを用意しており、一般の方の受講も望んでいる。

お盆中の休日変更

理容業組合で

理容業組合では定休日がお盆の十三日にあたるのでこれを十五日に変更する。

また十日から十二日まで営業時間を午後十時まで延長する。

【写真は入賞牛と大庭さん】

村民税はこうして計算されている

村・県民税の計算の方法は給与所得、一般事業所得、山林所得などによってそれぞれちがっています。ここでは主として村民税のうち一般事業所得について計算方法をかかげてみました。みなさんの税金もこの算式にあてはめて計算してみてください。しかし、実際に計算するにはその個人によっていろいろな条件がありますのでここでは大体の額になると思います。

それでは農家の東由利太郎さんの村民税を計算してみますと別表のようになります。

東由利太郎さんの村民税の計算

(算 式)

①
235,000円

②
− 90,000円

③
= 145,000円

③
145,000円

④
× 税 率

⑤
= 4,040円

{

この場合税率5万円以下2.0 %

50,000円 × 2.0 = 1,000円…… (A)

5万円を超え20万円まで3.2 %

95,000円 × 3.2 = 3,040円…… (B)

(A)1,000円 + (B)3,040円 = 4,040…⑤

⑤
4,040円

⑥
− 500円

⑦
− 900円

⑧
= 2,640円

⑧
2,640円

⑨
+ 200円

⑩
= 2,840円

太郎さんには奥さん(白申専従者)・子どもさん(扶養親族)が3人あります。

こうして計算すると、太郎さんの村民税は2,840円となります。

なお 県民税の計算方法は別にゆずりますが所得控除額・所得割税額控除などの対象は次のとおりです。

▷所得控除=①専従者②雑損③医療④社会保険⑤生命保険⑥扶養⑦基礎

▷所得割控除=①専従者②扶養③障害者・老年・寡婦・勤労学生など

村立黒淵診療所は去る六月二十日開所式が行われ、その後、親病院である由利組合病院の好意ある努力によつて医師の見とおしもつき、医療準備もすつかり整つてこの七月二十九日から診療を開始した。

黒淵地区はとくに冬期間は交通がとだえ、またふだんでも遠距離にあるため病氣やケガをしてもなかなか進歩した医学の恩恵を受けがたく、いつも生命の不安にさらされてきただけにこの診療開始が一日千秋の思いでも

黒淵診療所・29日から診療開始

診療日は毎週火・水・木・金曜



給食のお毒見(?)

老方小学校PTAでは七月十三日、住吉小学校を訪れて給食の施設や状況などを見学、そして給食を試食しながら同校PTAの人々と懇談を行った。

「こんなに栄養がたつぷりでおいしく、子どもたちにも喜ばれているなら自分たちの学校でもぜひはじめたい」とは、全員一致した感想である。

【写真は給食を試食する老方小PTAの人たち】

あつたわけである。

診療科目は内科・外科・小児科で診療日は毎週月曜日の夕刻より火・水・木・金曜日、診療時間は毎日午前九時から午後四時までである。

望まれる早期診断の励行

なおこの診療所の開設にあたり先の開所式で本荘保健所長のあいさつの中にもあつたように、地区の人々はぜひとも早期診断による早期治療が望まれる。予防にまさる治療なしで高血圧な



最後の5中体育会

長い間地域の人々に親しまれてきた仙道・田代・軽井沢・玉米・下郷五中学の体育会は今年で中止することになり、その最後の大会が七月四日、軽井沢・田代両中学校グラウンドで開催された。

高瀬川の流域を一つにして同じ山間部の立地条件にある五中学が体育によつて親睦をはか

り、それぞれの技術向上を目的としてはじめられたものであるが、近年は学校行事の増加などでいろいろ影響があるとして一まず中止にふみきつたもの。

当日は選手もそして観客も一つになり、各会場とも熱戦を展開して親善の最後を飾った。

【写真は最後の五中体育会、下郷(手前)対軽井沢中女子のバレーボール】

空前の盛況

7月家畜市場成績

七月定期家畜市場は四日台山馬検場で開設された。

出場頭数は全部和牛で一〇〇頭を越すこれまでの最高を記録、また価格もよいのびをみせて空前の盛況であつた。

めすの出場頭数は四五頭で最高七四〇〇円、最低二七一〇円、平均四四七〇〇円、おすは五七頭で最高三三〇〇円、最低一七七〇円、平均二五九〇円、前四月市場と比較するとおすの平均価格は変らないが、めすは一万円以上ののびをみせている。